

退任挨拶

前教育長 鈴木 一 正

泉崎村のみなさま。

常日頃より本村教育行政推進にご理解とご協力をいただいております。

さて、私こと、令和7年6月23日をもって、泉崎村教育委員会教育長の職を退任することになりました。令和元年6月24日に教育長職を拝命し、2期6年間、多くのご支援とご助言を賜りましたことに感謝を申し上げます。紙面にて失礼いたしますが、退任のご挨拶を申し上げます。

遡ること6年前、本紙掲載の就任のご挨拶において、変化の著しい社会の到来と目的を持って生きることの重要性を述べさせていただきました。本村教育委員会では、目的の実現のために第2期振興計画を策定し、様々な施策に取り組むこととしました。

その1つがICT環境の整備です。夢を実現するため、一人ひとりの学びのスタイルに応じて確かな学力を身に付ける手段としてタブレットの導入を検討し、順次導入をしようとしたとき、世界中が新型コロナウイルス感染症の出現と流行という事態になりました。

対策を模索し続け、全国的な休校措置という未曾有の状況の中で、どうしたら子どもたちの学びの場を確保できるのか。学校再開後の感染対策をどのようにするのか。そして、人と人とが直接コミュニケーションを取ることができない課題をどう解決するのか。学校教職員、村当局が一体となって環境整備に取り組みました。ここでは、2011年の東日本大震災の経験と併せて、発災直後の人と人との強い結びつき、協力関係「絆」が、力強く支えてくれたように思えてなりませんでした。

私たちが目指している泉崎村の教育は、「ともに手を取り合える村民手作りの教育」です。本村の教育現場は、この思いがしっかりと根を下ろしています。

例えば、学校教育現場では、家庭科のミシン操作のサポート、学校の作物づくりのサポート、職場体験への協力、自然観察会での協力、集団生活入門期の子どもたちへの生活支援等、地域全体で子どもたちを育もうとする多くのみなさまから教育活動支援をいただいております。

財政面では、給食費の補助、入学祝品事業、各種検定補助、村独自で教員の雇用と特別な支援が必要なお子さんへの支援体制整備を進めてきました。これまでに子どもたち一人ひとりの夢を実現できる環境が整えられ、「求めれば、自らの夢を実現できる環境」が出現しています。

しかし、ここでは、一人ひとりの特性に応じた学びと興味があることも理解しなければなりません。学校や学校以外で学ぶこと、スポーツをすること、文化活動をすること、自らの趣味を広げることなど豊かな人生を送る場づくりも必要になってきています。

6年間、教育行政に携わる中で、前述のような視点を持つことの重要性を改めて認識しました。

これからお一人お一人の可能性を実現するために教育委員会が伴走者としての役割を担っていくことが大切です。

少子化、人口減少、温暖化、世界情勢。必ずしも予測可能なことばかりではありません。子どもも大人も互いに職場や地域でコミュニケーションを交わし一体となって前進する泉崎村であることを願っています。

私にとって、試行錯誤をしながらの6年間ではありましたが、多くのみなさまの時には厳しいご指摘、そして、心温まる支援をいただいたことは、大きな財産となりました。

どうぞ泉崎村のみなさま方が、ますます絆を強く、前進されることを願ってご挨拶とさせていただきます。6年間ありがとうございました。



阿武隈川のかわづくりについてご意見をお聴かせください

◆概要

阿武隈川水系河川整備計画（大臣管理区間）の変更素案に対するパブリックコメント（意見公募）を実施します。

流域内にお住まいの皆様のご意見を反映させた計画とさせていただきたいと思いますので、ぜひご意見をお寄せください。

◆変更計画素案閲覧場所

流域内自治体の役所、仙台河川国道事務所・福島河川国道事務所（出先の出張所等含む）

または、特設ウェブサイト

特設ウェブサイト：https://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/kasen_seibi/2025keikaku.html



◆期間

7～8月中を予定

※詳細な変更計画素案の閲覧場所、ご意見の提出方法および開催期間は特設ウェブサイトにてご確認ください。